

教科の目標

<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。</p> <p>(2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。</p>
--

学年の目標

<p>(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解することができるようにする。</p> <p>(2) 筋道立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。</p>
--

評価の観点

月	内容のまとめ	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	言葉に出会うために	五十音表 朝のリレー 野原はうたう 声を届ける/書き留める/ 言葉を調べる/続けてみよう	・比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使うこと。 ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解すること。	・目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること	・音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。 ・音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。 ・音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして声を届けようとしている。 ・進んで日常生活の中から題材を決め、これまでの学習を生かして「言葉の手帳」を作る
5	1 学びをひらく	はじまりの風 季節のしおり 春 [聞く] 情報を的確に聞き取り、要点を伝える 言葉1 音声の仕組みや動き 漢字1 漢字の組み立てと部首 漢字に親しもう1 ダイコンは大きな根?	・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 ・比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使うこと。 ・音声の働きや仕組みについて、理解を深めること。 ・小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表（以下「学年別漢字配当表」という。）に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読むこと。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字	・目的や場面にに応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。 ・必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点を踏まえて、自分の考えをまとめること。 ・目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。 ・場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えること。	・場面の展開について、描写を基に積極的に捉え、学習課題に沿って感想を交流しようとしている。 ・進んで記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、学習課題に沿ってメモを取ろうとしている。 ・伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使おうとしている。 ・集めた材料を粘り強く整理し、学習の見通しをもってわかりやすく説明しようとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだ
6	2 新しい視点で	ちょっと立ち止まって 情報整理のレッスン 比較・分類 情報を整理して説明しよう 言葉2 指示する語句と接続する語句	・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解すること。 ・比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使うこと。 ・単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めること。	・目的や場面にに応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。 ・自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えること。 ・文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握すること。	・文章の中心的部分と付加的部分について積極的に捉え、学習課題に沿って筆者の工夫を伝え合おうとしている。 ・進んで要旨を把握し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に意見と根拠の関係について理解しようとしている。 ・話の構成を粘り強く考え、学習の見通しをもってスピーチをしようとしている。 ・単語の類別を理解するために、今までの学習を生かして、積極的にその前提となる言葉

6	3 言葉に立ち止まる	空の詩 三編 比喩で広がる言葉の世界 言葉3 ささまざまな表現技法	<ul style="list-style-type: none"> ・比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使うこと。 ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。 ・目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引用のしかたや出典の示し方について積極的に理解を深め、学習課題に沿ってそれらを使うとしている。
7	3 言葉に立ち止まる	言葉を集めよう 語彙を豊かに 情報収集の達人になろう 文法への扉1 言葉のまとまりを考えよう →文法1 言葉の単位 (P238-241)	<ul style="list-style-type: none"> ・単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。 ・文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握すること。 ・文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって詩を創作しようとしている。 ・進んで要旨を把握し、学習課題に沿って言葉について考えを深めようとしている。 ・今までの学習を生かして、積極的に指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めようとしている。 ・今までの学習を生かして、積極的に事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、
7	読書生活を豊かに	読書を楽しむ 本の中の中学生 あと少し、もう少し／西の魔女が死んだ／ ブラインドの向こうに見える光 読書案内 本の世界を広げよう 読書コラム 本との出会い 季節のしおり 夏	<ul style="list-style-type: none"> ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを進んで理解し、今までの学習を生かして本の魅力や感想を伝え合おうとしている。 ・文章を読んで理解したことに基づいて、積極的に自分の考えを確かなものにし、学習課題に沿って本を読んで考えたことを伝え合おうとしている。 ・伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化
9 10	4 心の動き	大人になれなかった弟たちに…… 星の花が降るころに 項目を立てて書こう [推敲] 読み手の立場に立つ聞き上手になろう 言葉2 方言と共通語 漢字2 漢字の音訓 漢字に親しもう2	<ul style="list-style-type: none"> ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 ・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うこと。 ・比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使うこと。 ・共通語と方言の果たす役割について理解すること。 ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめること。 ・目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。 ・読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えること。 ・場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えること。 ・目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習の見通しをもって朗読しようとしている。 ・進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈し、学習の見通しをもって考えを伝え合おうとしている。 ・進んで記録したり質問したりしながら、話の内容を捉え、今までの学習を生かして話を引き出そうとしている。 ・集めた材料を積極的に整理し、学習課題に沿って案内文を書こうとしている。 ・粘り強く文章を整え、学習課題に沿って案内文を推敲しようとしている。 ・今までの学習を生かして、積極的に共通語と方言の果たす役割について理解しようとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだ
10 11	5 筋道を立てて	「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ 思考のレッスン1 意見と根拠 根拠を明確にして書こう 漢字に親しもう3 文法への扉2 言葉の関係を考えよう →文法2 文の組み立て (P242-246) 聴きひたる 大阿蘇 季節のしおり 秋	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表（以下「学年別漢字配当表」という。）に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読むこと。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解すること。 ・比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使うこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめること。 ・書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えること。 ・根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。 ・文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成や展開について粘り強く考え、学習の見通しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。 ・今までの学習を生かして、積極的に原因と結果の関係について理解しようとしている。 ・文章の構成や展開を粘り強く考え、学習の見通しをもってレポートを作成しようとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 ・進んで話題の展開を捉え、学習課題に沿って話し合いにおける発言のしかたについて考えようとしている。 ・積極的に互いの発言を結び付けて考えをまとめ、学習の見通しをもってグループ・ディスカッションをしようとしている。 ・進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして朗読しようとしている。 ・伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化

11	6 いにしへの心にふれる	<p>古典の世界 音読を楽しむ いろは歌 蓬葉の玉の枝―「竹取物語」 から 今に生きる言葉 〔書く〕 故事成語を使って体 験文を書こう 漢文を読む</p>	<p>・音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を 知り、古文や漢文を音読し、古典特有のリズ ムを通して、古典の世界に親しむこと。 ・古典には様々な種類の作品があることを知 ること。</p>	<p>・書く内容の中心が明確になるように、段落 の役割などを意識して文章の構成や展開を考 えること。 ・場面の展開や登場人物の相互関係、心情の 変化などについて、描写を基に捉えること。 ・文章を読んで理解したことに基づいて、自 分の考えを確かなものにする。</p>	<p>・古典にはさまざまな種類の作品があること を積極的に知り、今までの学習を生かして古 文を音読しようとしている。 ・進んで古文を音読し、学習課題に沿って描 かれている古典の世界を想像しようとしてい る。 ・積極的に漢文を音読し、今までの学習を生 かして故事成語を使った文章を書こうとして</p>
12	7 価値を見いだす 書写 百人一首	<p>「不便」の価値を見つめ直す 思考のレッスン2 原因と結 果 （話し合い）進め方について 考えよう 季節のしおり 冬 話題や展開を捉えて話し合 おう 研究に現場ようこそ 本の世界を広げよう</p>	<p>・単語の類別について理解するとともに、指 示する語句と接続する語句の役割について理 解を深めること。 ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報と の関係について理解すること。 ・比較や分類、関係付けなどの情報の整理の 仕方、引用の仕方や出典の示し方について理 解を深め、それらを使うこと。 ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考え を広げたりすることに役立つことを理解する こと。</p>	<p>・根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わ る文章になるように工夫すること。 ・根拠の明確さなどについて、読み手からの 助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改 善点を見いだすこと。 ・目的に応じて必要な情報に着目して要約し たり、場面と場面、場面と描写などを結び付 けたりして、内容を解釈すること。 ・文章を読んで理解したことに基づいて、自 分の考えを確かなものにする。</p>	<p>・積極的に必要な情報に着目して要約し、自 分の考えを文章にまとめようとしている。 ・読み手からの助言などを踏まえ、自分の文 章のよい点や改善点を進んで見だし、学習 課題に沿って書評を書き、助言し合おうと している。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読ん だり書いたりしようとしている。 ・単語の類別を理解するために、今までの学 習を生かして、積極的にその前提となる文の 組み立てについて理解しようとしている。 ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考え を広げたりすることに役立つことを積極的に 理解し、今までの学習を生かして考えたこと を伝え合おうとしている。 ・伝統的な言語文化に関するこれまでの学習 を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化 を大切にしようとしている。</p>
1 2 3	8 自分を見つめる	<p>少年の日の思い出 漢字に親しもう5 文法への扉3 単語の性質を 見つけよう →文法3 単語の分類 (P247- 250) 二十歳になった日 構成や描写を工夫して書こう 漢字3 漢字の成り立ち 一年間の学びを振り返ろう ばくが ここに さくらの はなびら 学習を振り返ろう</p>	<p>・事象や行為、心情を表す語句の量を増すと ともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味 との関係に注意して話や文章の中で使うこと を通して、語感を磨き語彙を豊かにすること 。 ・単語の類別について理解するとともに、指 示する語句と接続する語句の役割について理 解を深めること。 ・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の 技法を理解し使うこと。 ・比較や分類、関係付けなどの情報の整理の 仕方、引用の仕方や出典の示し方について理 解を深め、それらを使うこと。 ・共通語と方言の果たす役割について理解す ること。</p>	<p>・目的や意図に応じて、日常生活の中から題 材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいこ とを明確にすること。 ・書く内容の中心が明確になるように、段落 の役割などを意識して文章の構成や展開を考 えること。 ・根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わ る文章になるように工夫すること。 ・文章の中心的部分と付加的な部分、事実 と意見との関係などについて叙述を基に捉 え、要旨を把握すること。 ・目的に応じて必要な情報に着目して要約し たり、場面と場面、場面と描写などを結び付 けたりして、内容を解釈すること。 ・文章の構成や展開、表現の効果について、 根拠を明確にして考えること。 ・文章を読んで理解したことに基づいて、自 分の考えを確かなものにする。</p>	<p>・文章の構成や展開、表現の効果について積 極的に考え、学習の見通しをもって別の人物 の視点から文章を書き換えようとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読ん だり書いたりしようとしている。 ・進んで場面と場面、場面と描写などを結び 付けて、内容を解釈し、今までの学習を生か して考えたことを伝え合おうとしている。 ・粘り強く文章の構成や展開を考え、学習の 見通しをもって随筆を書こうとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読ん だり書いたりしようとしている。 ・文章を読んで理解したことに基づいて、積 極的に自分の考えを確かなものにし、考えた ことを伝え合おうとしている。 ・今までの学習を生かして、それぞれの学習 課題に粘り強く取り組もうとしている。</p>
評価方法		<p>・定期テスト ・ワークシート ・小テスト</p> <p>など</p>	<p>・定期テスト ・ワークシート ・グループでの活動 など</p>	<p>・ワークシート ・提出物 ・授業の様子 など</p>	

～授業～

- ・教科書等をしっかりと読み、まずは自分の考えをもちましょう。
それぞれの考えを共有する中で、様々な考えに触れ、深めていきましょう。
周りの人の考えを聴きながら、自分の考えを発展させ、物事を広い視点から捉えられる力をつけましょう。
- ・グループ活動や発表では、自分の考えを伝えるだけでなく、仲間の考えをしっかりと聴くことが大切です。
最後までじっくりと聴き、自分の考えとつなげながら学習していきましょう。
- ・その日の授業で考えたことを、ふりかえり、次の学習につなげていきましょう。
自分の考えだけでなく、周りの人の考えを聴いて、わかったことや気づいたことに目を向けていきましょう。
- ・学習したことを、普段の生活につなげて考えていきましょう。

～家庭学習～

- ・その日の学習を、教科書・ワークシート・ワークを使って復習しましょう。
- ・次の授業の予習を教科書・ワークを使ってしておきましょう。漢字や意味を各自調べておきましょう。

～テスト～

- ・課題にしっかり取り組み、テストに備えましょう。
- ・ワーク・教科書・ワークシート・資料集などを使って、これまでの復習をしておきましょう。